

令和4年度 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会事業計画書

I 基本方針

新型コロナウイルス感染拡大による影響が広がる中、国においては、昨年6月に障害者差別解消法が改正され、合理的配慮の提供が民間事業者にも義務付けられました。また、東京パラリンピックが開催されたことで、様々な場面で、障害者理解が深められるよう取り組みが進められています。県においては、滋賀県障害者プラン2021が策定されるなど、地域とともに暮らし、ともに学び、ともに働き、ともに活動することの実現に向けて取り組まれています。

しかし、コロナ禍において、当協会が主催する第70回記念滋賀県身体障害者福祉大会をはじめとして、全国大会や近畿ブロック大会がインターネット配信による開催となったため、多くの方が集い、情報交換等をする機会が減少し、地域や関係団体の状況の把握や情報の共有が困難な状況となっています。また、各地域等障害者団体の中には、活動ができず組織の存続すら危ぶまれるなど、障害者団体にとっては、非常に厳しい時代となっています。

当協会は、障害当事者団体として、新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、事業を実施できるよう、また、地域等障害者団体等への支援をするとともに、障害者の活動をアピールし、県民への障害者理解を深められるよう取り組んで参ります。

事業計画

1 協会の健全な運営

公益財団法人として、法制度に基づき適正な法人の運営と財政基盤の確保に取り組み、障害者福祉の向上と協会の健全な運営に努めます。

(1) 法人諸会議の開催

定款に基づいた、法人運営に必要な評議員会や理事会等の円滑な運営

- ① 評議員会の開催
- ② 理事会の開催
- ③ 監事会の開催
- ④ 三役会の開催

(2) 日本身体障害者団体連合会（以下「日身連」という。）や近畿ブロック連絡協議会への参画

上部団体である日身連や近畿ブロック連絡協議会が実施する会議へ出席し、意見要望等についての審議と情報の共有

- ① 日身連評議員会への出席
- ② 近畿ブロック団体長等会議の開催と出席

(3) 公益目的等付帯業務の実施と安定した財源の確保

公益目的事業実施のための安定した財源の確保

- ① 日身連収益事業所が実施するカタログ販売の斡旋
- ② 基本財産等の有効的な運用
- ③ 広報紙や開催事業への広告協賛および賛同企業による寄付の拡大

2 地域等組織活性化の支援

協会の組織基盤である地域団体や、障害別団体の組織基盤の強化と活動活性化のための支援

(1) 地域等組織活性化に向けた支援

コロナ禍で、活動が低下している地域等組織のため、活動の再開と組織の基盤強化に向けた支援

- ① 地域等組織活動活性化事業の実施
- ② 広報紙等による地域会員の募集と協会活動の啓発
- ③ 市長会、町村会への協力要請

(2) 地域活動への協力

県立障害者福祉センター教室事業等の地域開催による県内各地域の活動支援

3 関係機関・団体との連携強化と障害者施策等要望

障害者福祉施策の推進と課題解決に向けた、関係機関・団体との連携強化による積極的な制度改善要望と政策提言の実施。また、福祉関係団体が実施する事業への参加促進

(1) 障害者福祉に関する要望活動等の実施

県や関係機関等に対する障害者福祉に関する制度や施策、予算等に関する要望活動の実施

- ① 障害者制度改善等の要望（滋賀県議会・滋賀県市長会・滋賀県町村会）
- ② 滋賀県身体障害者福祉大会決議事項の要望（県知事および県関係部局）
- ③ 滋賀県予算対策要望検討委員会に参画し、提言と要望活動の実施
- ④ 協会実施事業等にかかる支援等要望活動の実施

(2) 関係機関や団体等への委員の参画

県の関係機関等が主催する委員会等への参画と共生社会の実現に向けた当事者としての意見提言

- ① 滋賀県社会福祉審議会委員
- ② 滋賀県障害者施策推進協議会委員
- ③ 滋賀県リハビリテーション協議会委員
- ④ 滋賀県予算対策要望検討委員会委員
- ⑤ 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会委員
- ⑥ 大津湖南エリア地域公共交通活性化協議会委員
- ⑦ その他関係機関・団体の委員等

(3) 関係機関や団体等が実施する事業への協力

県内の関係機関や福祉団体等が実施する事業への協力と積極的な事業周知と参加

4 障害者社会参加推進活動の充実

当事者団体（身体障害、知的障害、精神障害）を包括する障害者社会参加推進センターを核とし、障害の有無にかかわらず、だれもが地域で安心して暮らせる社会（共生社会）づくりと障害者理解を深めるための事業の充実強化

(1) 滋賀県障害者社会参加推進センター事業の強化と充実

共生社会の実現に向けた、関係団体・機関の協力と障害者の多種多様な需要の把握の一本化および障害者自らによる諸種の社会参加促進施策の体系的、効果的・効率的な推進

- ① 滋賀県障害者社会参加推進協議会の開催
- ② 障害者理解を深めるための研修会等の開催
- ③ 障害者週間啓発・推進事業の実施
- ④ 障害者差別に係る相談窓口の設置
- ⑤ 障害者による書道・写真全国コンテストの作品募集
- ⑥ 滋賀県障害者社会参加推進センターホームページの充実
- ⑦ 障害者の社会参加にかかる各種研修会等への積極的参加

(2) 社会参加促進事業の推進

各障害者団体ならびに各地域で、障害者が住みなれた地域社会の中で自立し、社会参加を図る。

- ① オストメイト社会適応訓練
- ② 車椅子生活行動訓練
- ③ 腎臓障害者生活行動訓練
- ④ 音声機能障害者発声訓練
- ⑤ 安全な日常生活のための講習・訓練

5 身体障害者相談員の資質向上と活動強化

各市町の身体障害者相談員が地域の障害者の日常相談に適切に対応し、新たな関係法令等に関する知識を深めるため研修会を実施、また、関係の研修会等への参加促進

(1) 滋賀県身体障害者相談員研修の実施

各市町の身体障害者相談員の資質向上のための研修会の開催

(2) 日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会の開催

身体障害者相談員の資質向上と情報共有のため、近畿ブロックの研修会を開催

第24回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会

令和4年11月10日(木) 滋賀県立文化産業交流会館(米原市)

(3) 相談活動等に必要の研修会等への参加支援

6 身体障害者福祉大会開催と参加

共生社会をめざし、障害者が当面する諸問題の解決と更なる福祉の向上のため、障害者の取り組みや「思い」と「願い」をアピールする場として、県身体障害者福祉大会や、近畿ブロック福祉大会を開催当番県として実施。また、国での障害者施策等情報獲得を目的とした、日本身体障害者福祉大会の視聴支援

(1) 第71回滋賀県身体障害者福祉大会の開催

令和4年10月9日(日) あいこうか市民ホール

(2) 第67回日本身体障害者福祉大会への参加

令和4年6月20日(月) 福岡県(ネット配信)

(3) 第42回日身連近畿ブロック福祉大会の開催

令和4年11月10日(木) 滋賀県立文化産業交流会館(米原市)

7 青壮年部活動の充実強化

協会の基盤強化と中核的組織としてのリーダー育成を目的とし、青壮年部層を対象とした事業の実施と活動の充実強化

(1) 青壮年部交流会の実施

青壮年部層の拡大と活動の強化のため、県内障害者の交流会を実施し、活動の支援者や参加者の拡大と活動強化を図ります。

① 青壮年部研修交流会の開催

② 地域交流会の実施

(2) 県立障害者福祉センター事業への参加

① センターが主催する教室等への積極的参加

② ボッチャ交流大会への参加

(3) その他

① 青壮年部役員研修会の開催

② 障害者週間啓発・推進事業への協力

③ その他事業や大会等への参加・協力

(4) 青壮年部役員会等の開催

定期的に青壮年部役員会を開催し、青壮年部事業を企画立案します。

8 顕彰事業

長年にわたり、身体障害者の更生援護に貢献された方や自ら障害を克服し自立更生し他の模範となっている方等に対する表彰の実施、各種表彰への候補者の推薦

- (1) 滋賀県身体障害者福祉協会会長表彰の実施
- (2) 関係機関・団体等が実施する表彰制度への推薦
 - ① 滋賀県知事表彰への推薦
 - ② 日身連会長表彰への推薦
 - ③ 厚生労働大臣表彰への推薦
 - ④ 滋賀県障害者スポーツ協会表彰への推薦
 - ⑤ その他関係団体等が実施する表彰への推薦

9 情報提供活動の充実

障害者への各種情報の提供と協会の主催事業や各地域の取り組み周知のための事業実施

- (1) 機関紙「県身協」の発行（年4回）
- (2) 機関紙「日身連」の購買支援（毎月）
- (3) ホームページ等による情報提供

10 心身障害者扶養共済制度の推進

身体障害者の扶養共済制度の普及啓発と適正な取扱い事務の遂行
(滋賀県障害児者父母の会連合会取扱加入者を受入：掛金等取扱者の増加)

11 J Rジパング倶楽部の事務手続き

障害者手帳所持者で男性60歳以上、女性55歳以上の方が加入できる「J Rジパング倶楽部特別会員制度」への加入促進と適正な取扱い事務の遂行